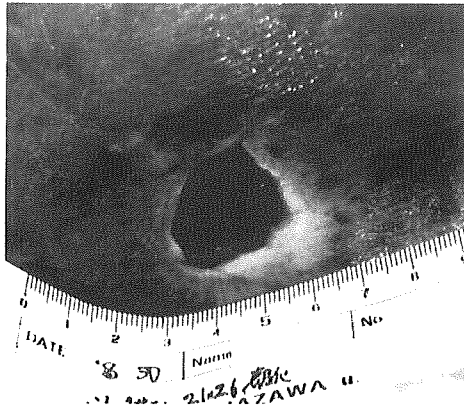


Granulation 肉芽形成の採点方法

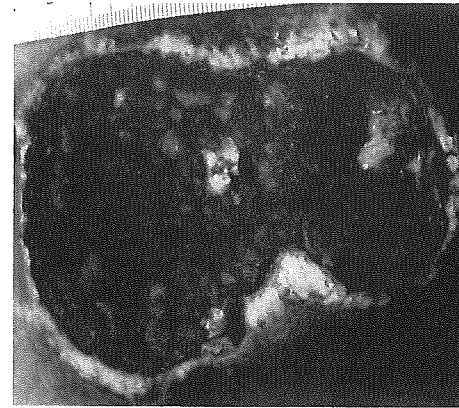
肉芽組織には、良性か不良かで2つに大別されます。

良性肉芽組織

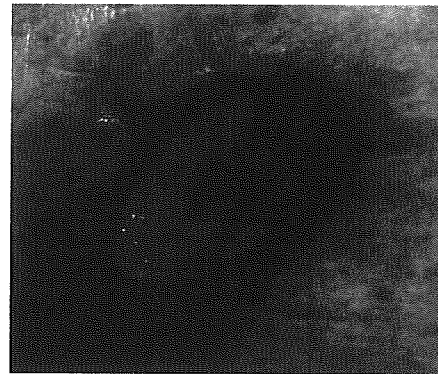


鮮紅色、かつ適度な湿潤環境

不良肉芽組織



過度の湿潤環境で浮腫のある肉芽組織

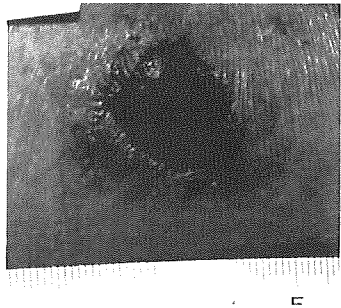


暗赤色の肉芽組織



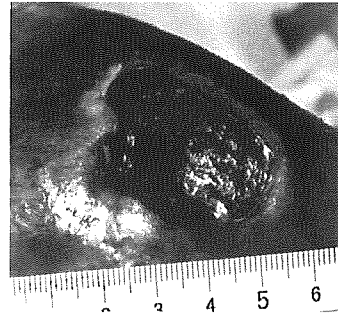
白っぽい肉芽組織

g 0 治癒あるいは創が浅いため
肉芽形成の評価ができない



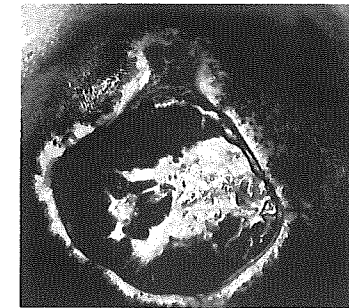
真皮までの損傷

g1 良性肉芽が、創面の90%
以上を占める



100%良性肉芽組織で占めている

g2 良性肉芽が、創面の50%
以上90%未満を占める



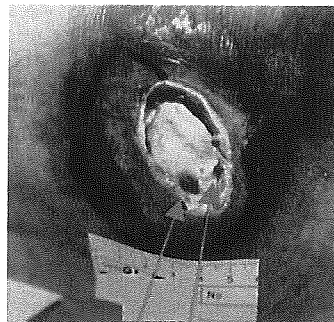
90%良性肉芽組織で占めている

G3 良性肉芽が、創面の10%
以上50%未満を占める



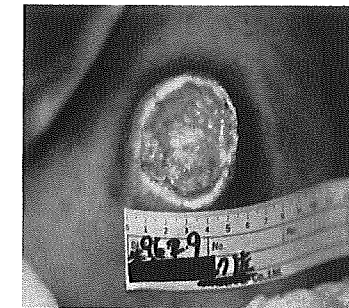
40%良性肉芽組織で占めている

G4 良性肉芽が、創面の10%
未満を占める



肉芽組織が壊死組織の下で増殖している

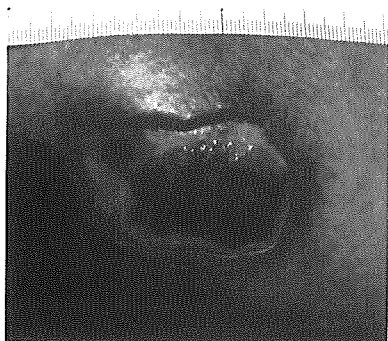
G5 良性肉芽が全く形成
されていない



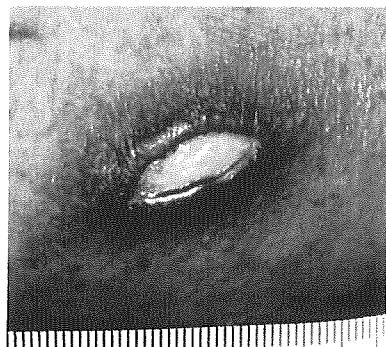
全体に白っぽい肉芽組織

Necrotic tissue 壊死組織の採点方法

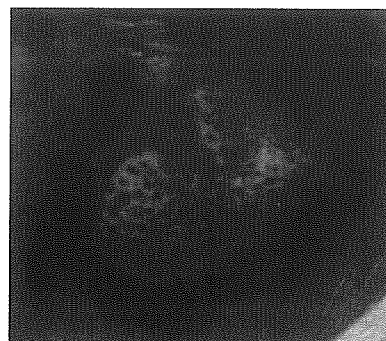
N1 柔らかい壊死組織あり



全面壊死組織が密着しているが、
鑷子ではさめる



フィブリン様壊死組織

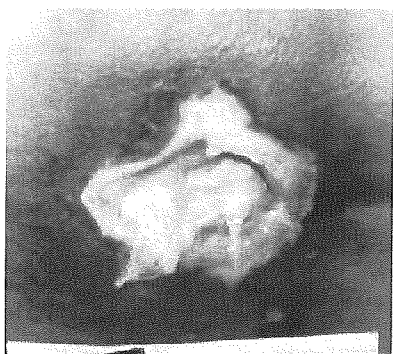


真皮層の壊死組織

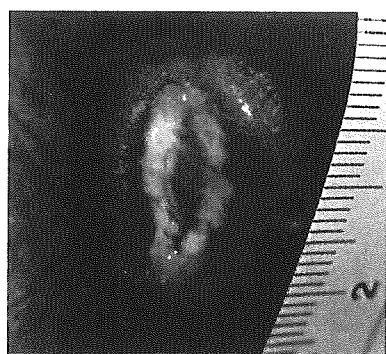
N2 硬く厚い密着した壊死組織あり



黒色で乾燥している



遊離した壊死組織



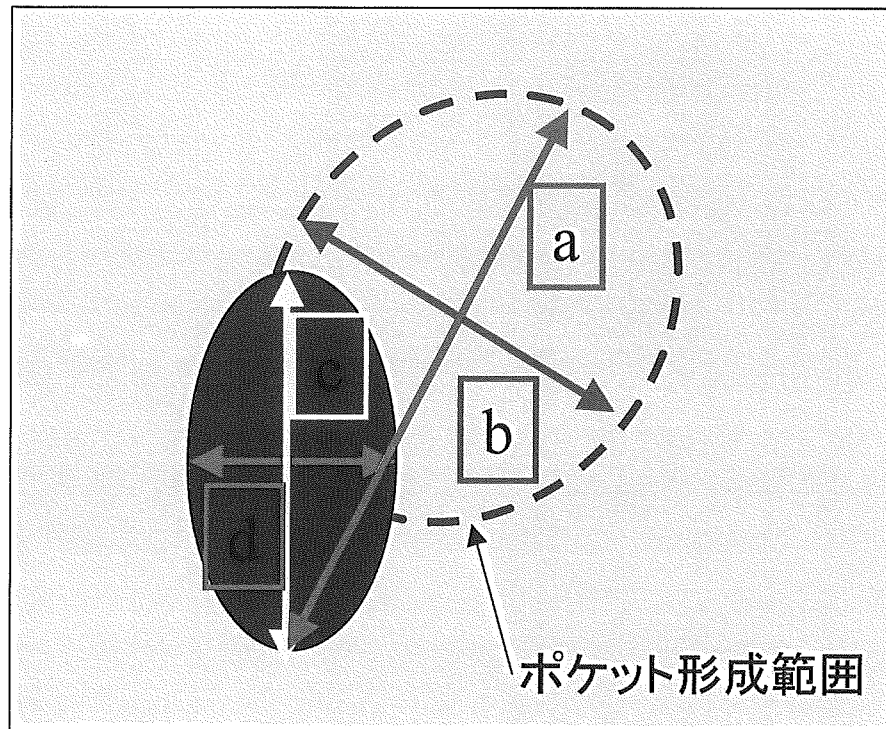
自己融解がすすんでいる壊死組織

Pocket ポケットの採点方法

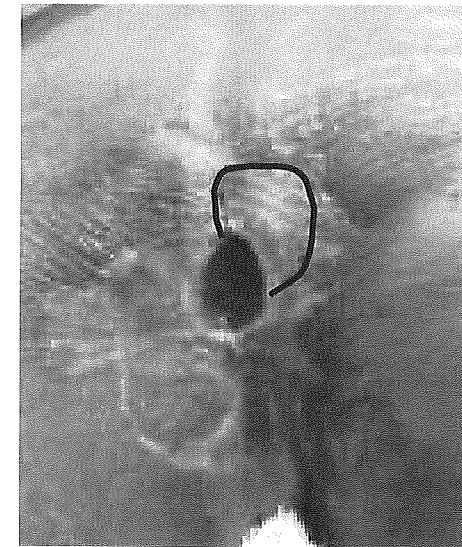
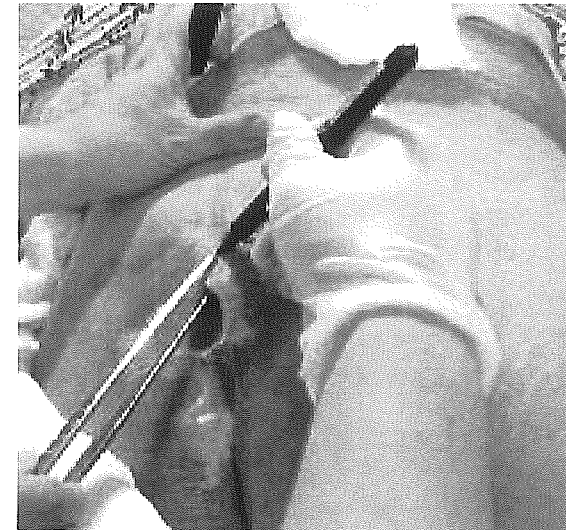
測定時には、毎回同一体位で測定します。

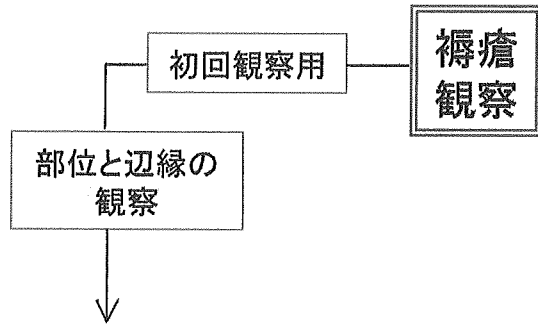
ポケット部に鑷子や綿棒を挿入し、ポケットの開口範囲を確認します。

ポケット全周(潰瘍面も含め)長径(cm)×短径(cm)から潰瘍の大きさを差し引いたもの



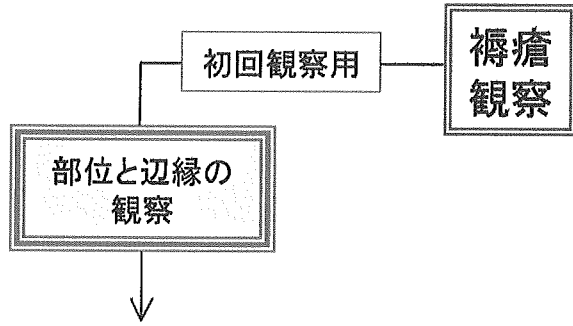
$$a \times b - c \times d$$





創部の観察(DESIGN継続経過評価用)

初回観察用



創部の観察 (DESIGN継続経過評価用)

1. 創の部位と形状の観察

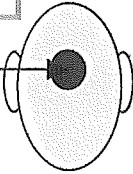
部位

発生部位は？

仰臥位

側臥位

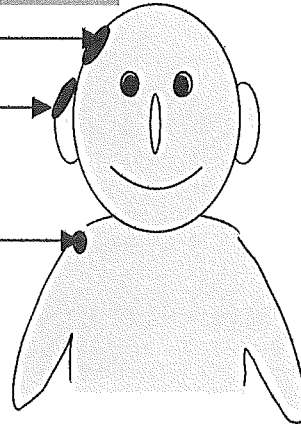
後頭部



側頭部

耳介部

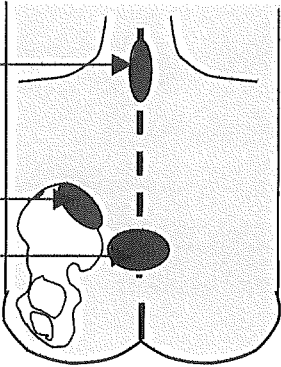
肩峰部



脊椎部

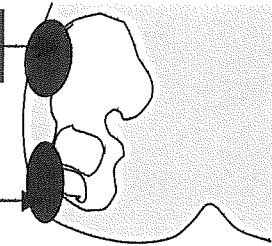
後腸骨稜部

仙骨部



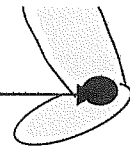
前腸骨稜部

大転子部



外踝部・内踝部

その他



踵部

その他

仙骨部

直上・上部

直上・下部

上部
最突出部
下部

辺縁部

座位

脊椎部

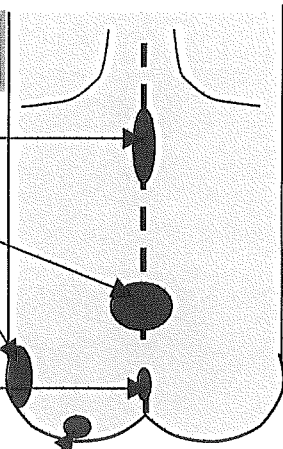
仙骨部

大転子部

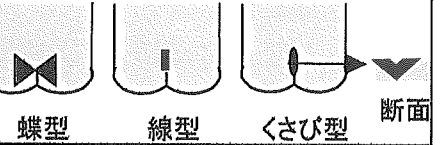
尾骨部

坐骨結節部

その他



尾骨部



腹臥位

側頭部

耳介部

頰部

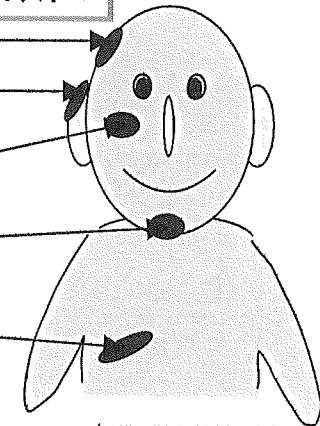
顎部

肋骨部

前腸骨稜部

膝部

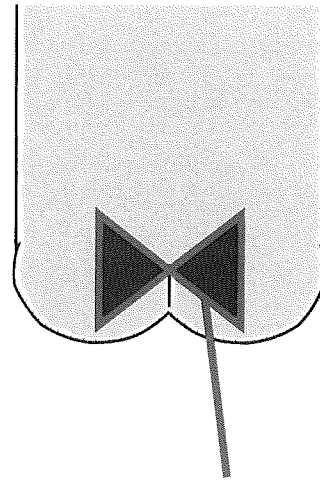
その他



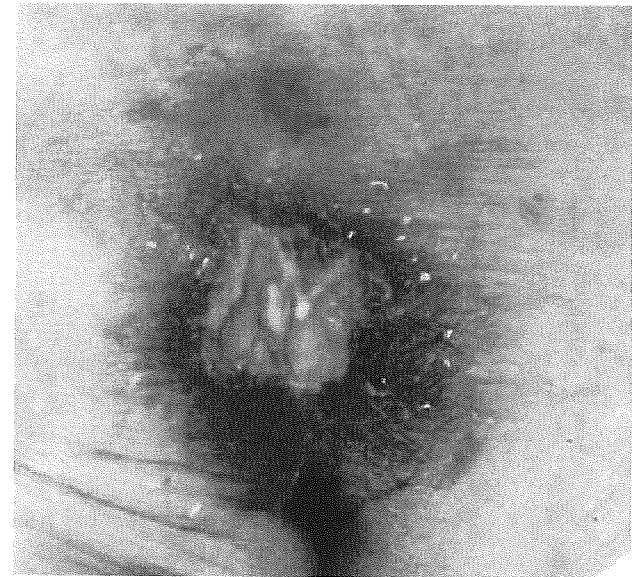
部位:尾骨

尾骨 蝶型

尾骨部を軸とした、左右対称な例



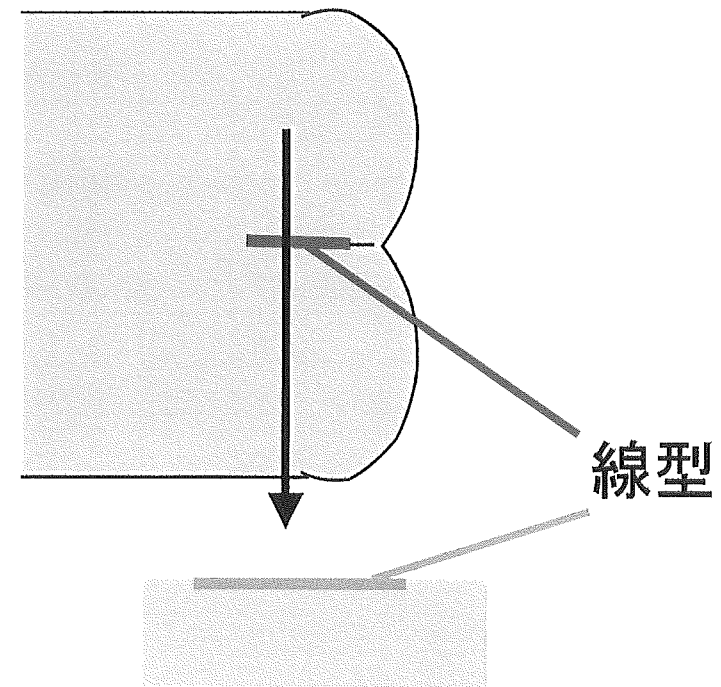
蝶形



部位:尾骨

尾骨 線型

殿裂を切開したような例

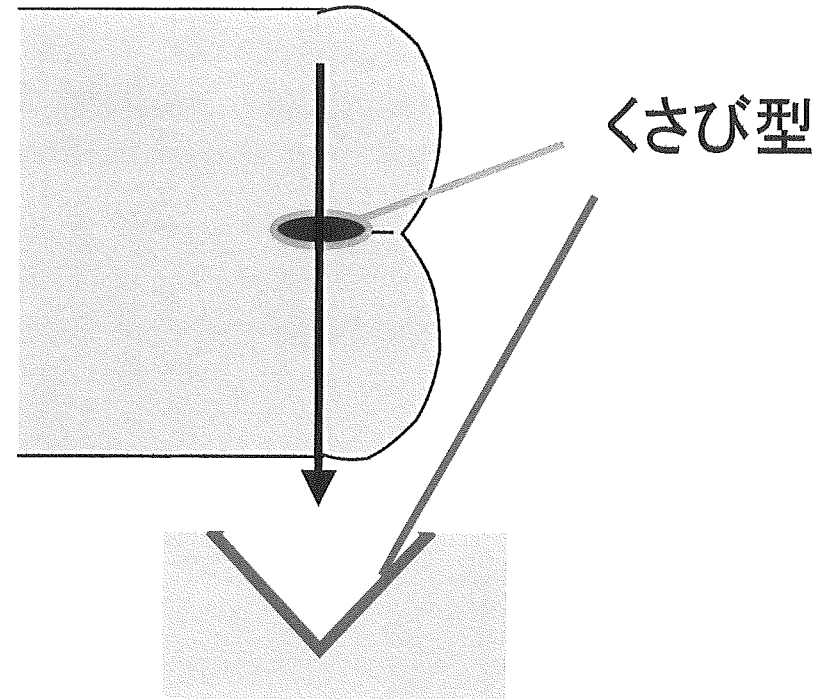
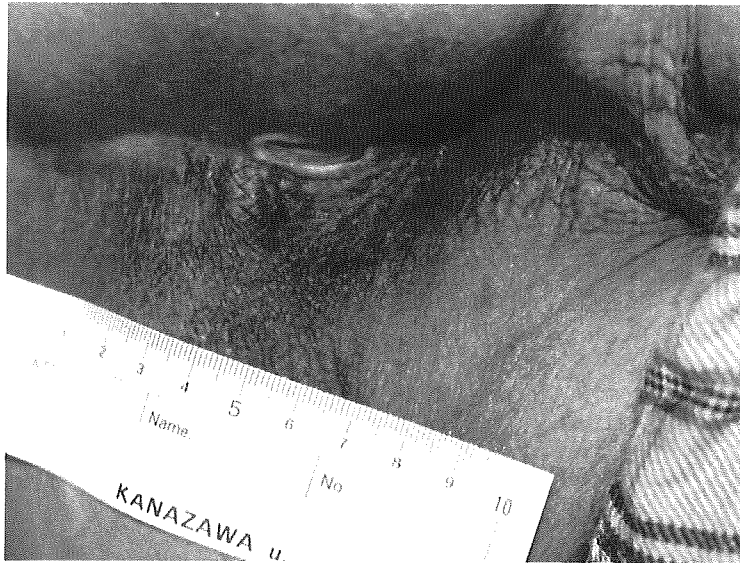


断面図

部位：尾骨

尾骨 くさび型

殿裂に彫刻刀で削ったような例



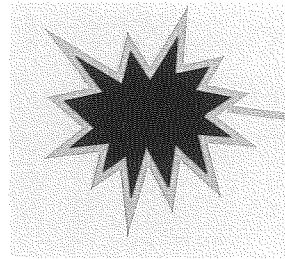
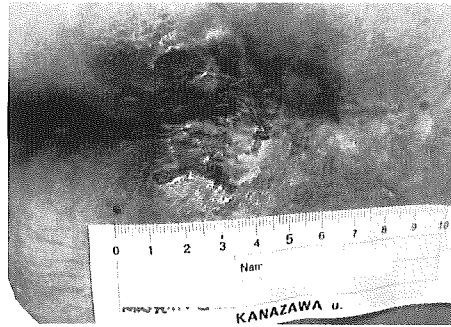
断面図

辺縁

辺縁は？

不整

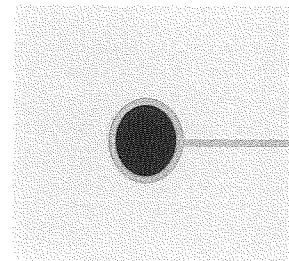
地図状の例



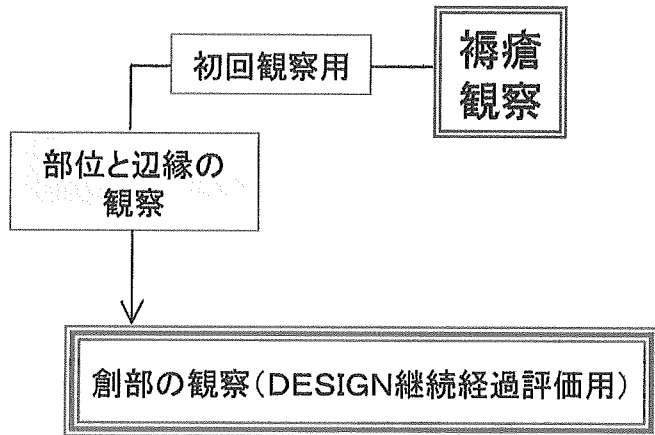
地図状

整

円・楕円の例



円



2. 創部の観察

創部

初回観察用

DESIGNの評価項目は？

D () E () S () I () G () N () P ()

NO

YES

下記に該当する項目はどれか？

D ()

3点以上

E ()

3点以上

S ()

6点以上

I ()

2点以上

G ()

3点以上

N ()

1点以上

P ()

1点以上

チェックの付いた項目についてのみ下記を評価

創周囲状態

発赤 () P.33へ
腫脹 () P.33へ
熱感 ()
浸出液の性状
膿性 () P.34へ
悪臭 () P.34へ

色の変化

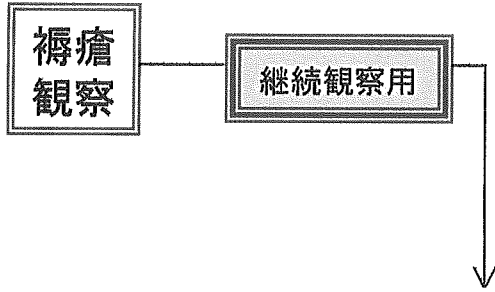
全面不良肉芽 () P.35へ
一部不良肉芽 () P.36へ
形態
陥凹 () P.37へ
クレバス () P.38へ

色

乾燥壊死組織 () P.39へ
柔らかい壊死組織
黒色壊死 () P.40へ
黄色壊死 () P.41へ
膜様壊死 () P.42へ

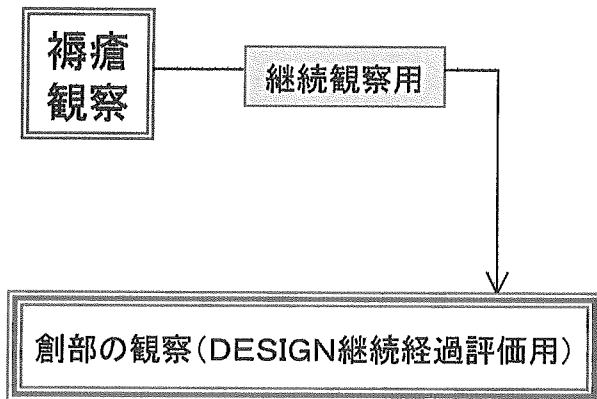
方向

一方向 () P.43へ
左右 () P.44へ
全周 () P.45へ



創部の観察 (DESIGN継続経過評価用)

継続観察用



1. 創部の観察

創部

継続観察用

DESIGNの評価項目は？

D () E () S () I () G () N ()

前回の評価と比較して得点が高くなる
または 変化なし

NO

Good care!

YES

どの項目？

D ()

E ()

S ()

I ()

G ()

N ()

P ()

3点以上

3点以上

6点以上

2点以上

3点以上

1点以上

1点以上

チェックの付いた項目についてのみ下記を評価

変化
深くなる () P.29へ

変化
増加 () P.30へ

サイズ
拡大 () P.31へ
停滞 () ← 肥厚・浸軟 () P.32へ
肥厚・乾燥 () P.32へ

創周囲状態
発赤 () P.33へ
腫脹 () P.33へ
熱感 () P.33へ
浸出液の性状
膿性 () P.34へ
悪臭 () P.34へ

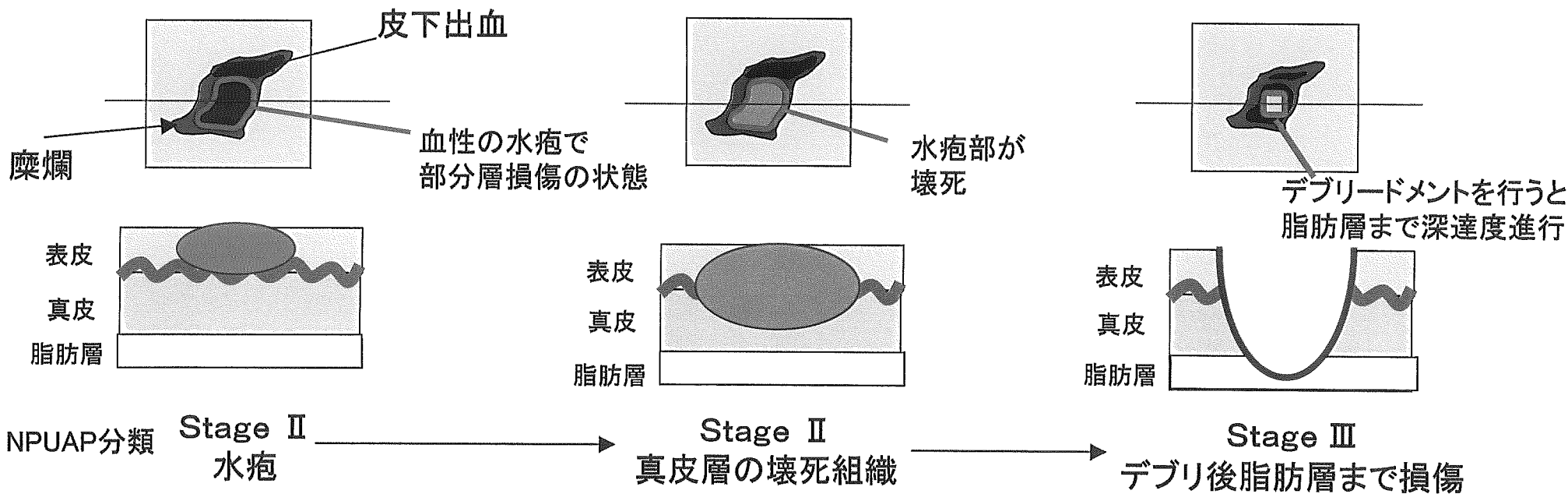
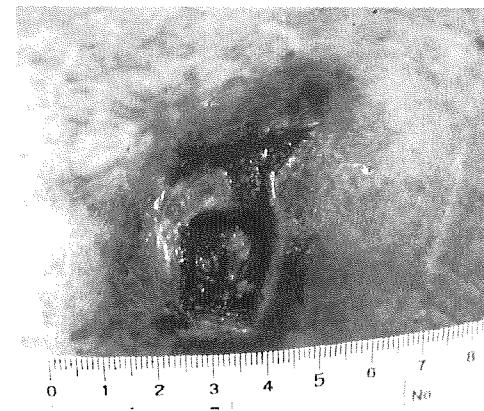
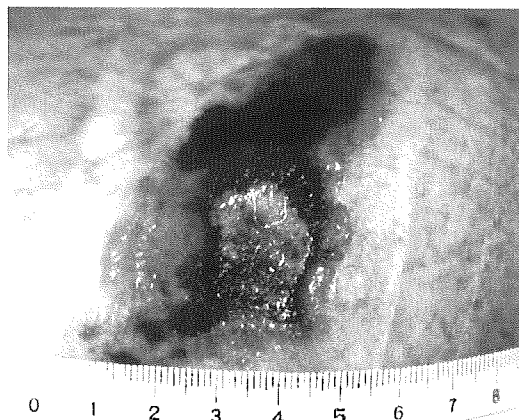
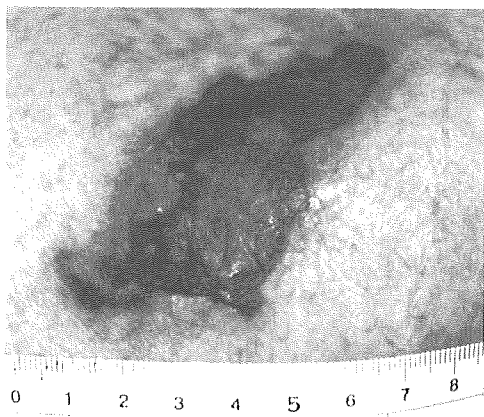
色
全面不良肉芽 () P.35へ
一部不良肉芽 () P.36へ
形態
陥凹 () P.37へ
クレバス () P.38へ

色
乾燥した壊死組織 () P.39へ
柔らかい壊死組織
黒色壊死 () P.40へ
黄色壊死 () P.41へ
膜様壊死 () P.42へ

方向
一方向 () P.43へ
左右 () P.44へ
全周 () P.45へ
ピンホール () P.46へ
変化
停滞 () P.47へ
拡大、深くなる () P.48へ

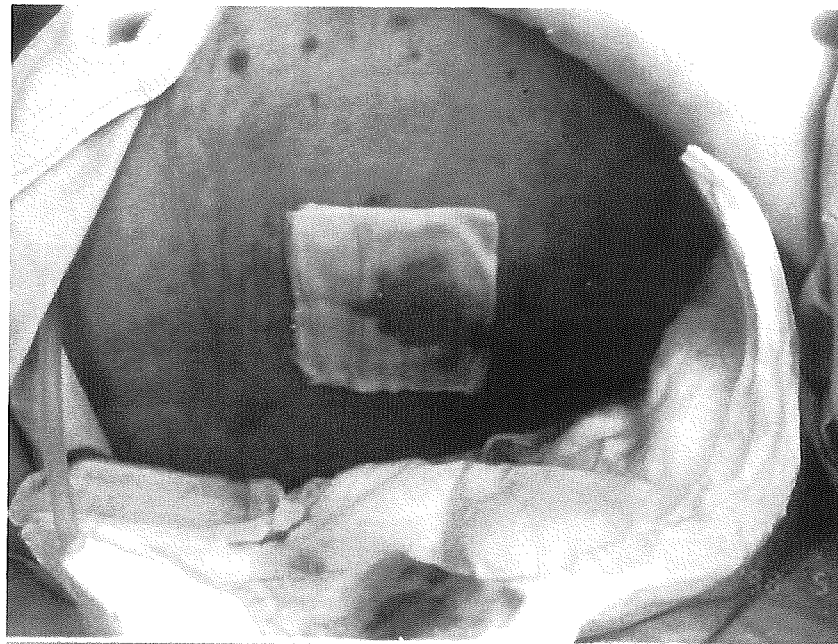
創部の状態

深くなる 深達度が進む例



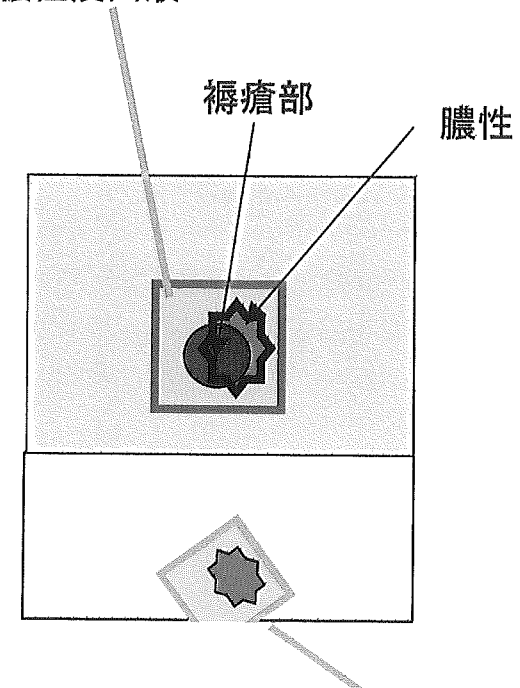
増加

前回の交換時と比較し、浸出液が急に増加した例



貼付3時間後
浸出液はベージュ色で膿性

ガーゼに付着した多量の
膿性浸出液



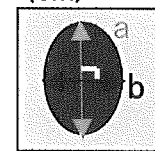
オムツにまで
浸出液が漏れ出ている

拡大

算出した創サイズが前回より大きくなる例

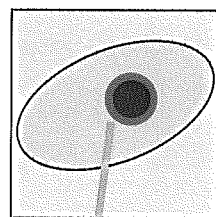
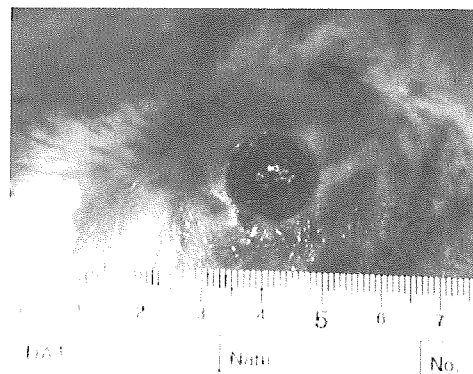
創サイズ

a(長径) × b(長径と直交する最大径)
(cm) (cm)

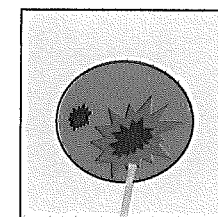
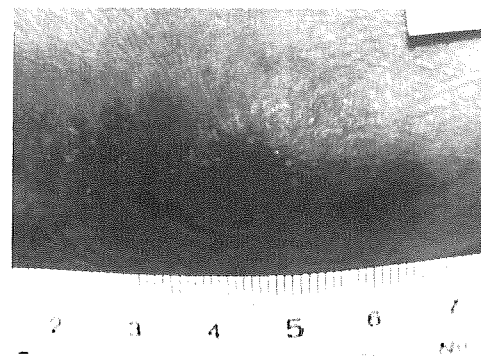
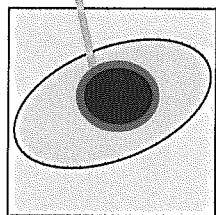
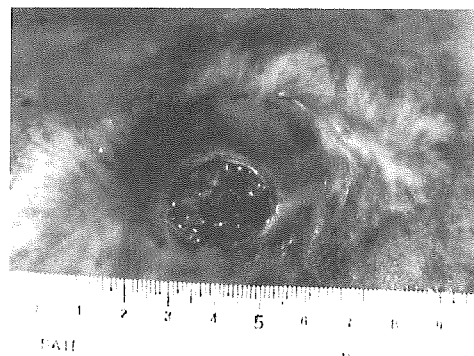


$a \times b$

時間経過
↓



創サイズ拡大



創サイズ拡大

